

# 阿蘇市水道事業 中期経営計画

## 達成状況 最終報告

平成22年度

## 1、達成状況の最終報告

水道事業は、独立採算による経営を基本理念に、清浄にして豊富低廉な水の安定供給を行うため、適切かつ効率的な事業運営の観点から、今後、より一層の経営改革と経営基盤の強化に取り組み、経営の健全化及び事業の活性化に努める必要があります。

こうした状況を踏まえ、平成18年3月に策定した阿蘇市水道事業中期経営計画(計画期間:平成17年度から平成21年度)に基づき、その経営内容の改善に向け取組を進めてまいりましたので、以下のとおり最終報告します。

## 2、事業運営の基本方針

### (1) 計画の位置付け

中期経営計画は、阿蘇市総合計画に基づき、水道事業の阿蘇市集中改革プランとして平成18年度から21年度までの具体的な取り組み目標を設定し、実施しました。

### (2) 計画策定の期間

開始年度	平成17年度
終了年度	平成21年度

### (3) 財政運営の結果

上水道事業・簡易水道事業併せて10,500千円以上の純利益の確保を目標とした結果、5年間平均で54、148千円の利益を確保しました。

### (4) 定員管理及び給与の適正化の目標

定員管理については、「阿蘇市定員適正化計画」に基づき、平成21年度までに4.6%の人員削減目標に対し16.7%の削減を実施しました。

給与の適正化については、一般会計の給与の適正化計画に準じ改善を図りました。

### (5) 目標とするサービス水準や顧客満足度

インターネットによる各種申込については、阿蘇市役所全体での利用を検討しており、今回水道局単体での実施は見送りました。また、コンビニエンスストア収納については検討した結果初期投資及び手数料費用の観点から今回については断念することとしました。今後も、お客様のご意見を聞きながら対処したいと考えます。

### (6) 経営基盤強化への取組み状況

平成20年度に作成した阿蘇市水道ビジョンに基づき設備の改築・更新を実施してきました。今後も設備改築・更新を行いつつ、管理システムの近代化やアウトソーシングの導入を視野に入れた経営を図りたい。

また、経営基盤の健全化を図るために、高利率企業債の繰上げ償還を実施しました。今後も収納率の向上やコスト削減を恒常的にすすめ、公営企業として健全な経営を実施します。

### 3、事業計画とその達成状況

#### ① 将来需用予測

	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
給水人口 (人)	26,100	<b>24,540</b>	26,100	<b>23,841</b>	26,100	<b>23,649</b>	26,100	<b>23,353</b>	26,100	<b>23,227</b>
年間総給水量 (千m <sup>3</sup> )	3,181	<b>3,191</b>	3,181	<b>3,071</b>	3,181	<b>3,110</b>	3,181	<b>3,015</b>	3,181	<b>3,054</b>
1日平均給水量 (m <sup>3</sup> )	8,715	<b>8,745</b>	8,715	<b>8,415</b>	8,715	<b>8,520</b>	8,715	<b>8,261</b>	8,715	<b>8,366</b>
結果	給水人口は減少していますが、年間総給水量は、3,100千m <sup>3</sup> 前後で推移しました。									

#### ② 収益的収支及び資本的収支

##### (1) 収益的収入: 税抜

(単位: 千円)

	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		
	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	
収益的収入	使用料収入	445,500	<b>459,170</b>	445,500	<b>439,395</b>	445,500	<b>447,235</b>	445,500	<b>423,559</b>	445,500	<b>428,367</b>
	他会計補助金	45,000	<b>44,418</b>	45,000	<b>45,226</b>	45,000	<b>45,457</b>	45,000	<b>46,305</b>	45,000	<b>43,538</b>
	(内基準内繰出)	(20,000)	<b>(13,274)</b>	(20,000)	<b>(14,447)</b>	(20,000)	<b>(14,163)</b>	(20,000)	<b>(13,578)</b>	(20,000)	<b>(12,244)</b>
	(内基準外繰出)	(25,000)	<b>(31,144)</b>	(25,000)	<b>(30,779)</b>	(25,000)	<b>(31,294)</b>	(25,000)	<b>(32,727)</b>	(25,000)	<b>(31,294)</b>
	合計・・・(A)	490,500	<b>503,588</b>	490,500	<b>484,621</b>	490,500	<b>492,692</b>	490,500	<b>469,864</b>	490,500	<b>471,905</b>
説明	収入合計は年間総給水量に比例して増減しますが、490,000千円前後で推移しました。										

##### (2) 収益的支出: 税抜

(単位: 千円)

	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		
	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	
収益的支出	人件費	83,000	<b>85,757</b>	89,000	<b>86,288</b>	89,000	<b>87,690</b>	89,000	<b>94,089</b>	83,000	<b>85,962</b>
	物件費	391,000	<b>337,071</b>	391,000	<b>358,414</b>	391,000	<b>348,580</b>	391,000	<b>346,744</b>	393,000	<b>321,336</b>
	合計・・・(B)	474,000	<b>422,828</b>	480,000	<b>444,702</b>	480,000	<b>436,270</b>	480,000	<b>440,833</b>	476,000	<b>407,298</b>
効果	物件費において、町村合併に伴う固定資産の再評価を実施した結果約40,000千円の固定資産費用が減少したものです。						人件費の増については、法定福利費の共済負担金の割合の増によるものです。		人件費の減については、職員数の1名減によるものです。		

経常損益・・・(A)-(B)	16,500	<b>80,760</b>	10,500	<b>39,919</b>	10,500	<b>56,422</b>	10,500	<b>29,031</b>	14,500	<b>64,607</b>
----------------	--------	---------------	--------	---------------	--------	---------------	--------	---------------	--------	---------------

## (3) 資本的収入: 税込

(単位: 千円)

		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
		計 画	決 算	計 画	決 算	計 画	決 算	計 画	決 算	計 画	決 算
資本的 収 入	企 業 債	160,800	<b>160,900</b>	140,000	<b>96,300</b>	100,000	<b>260,500</b>	100,000	<b>158,200</b>	50,000	<b>55,000</b>
	他会計補助金	18,000	<b>14,958</b>	18,000	<b>17,939</b>	18,000	<b>20,612</b>	18,000	<b>26,346</b>	18,000	<b>29,298</b>
	国庫補助金	41,777	<b>41,777</b>	48,000	<b>48,090</b>	30,000	<b>0</b>	0	<b>0</b>	0	<b>0</b>
	その他	0	<b>13,904</b>	0	<b>12,045</b>	0	<b>29,495</b>	0	<b>26,867</b>	0	<b>20,583</b>
	合計・・・(A)	220,577	<b>231,539</b>	206,000	<b>174,374</b>	148,000	<b>310,607</b>	118,000	<b>211,413</b>	68,000	<b>104,881</b>
説 明		企業債は黒川送水管布設替工事95,000千円、波野簡易水道工事費65,900千円を借入れ。国庫補助金は全額波野簡易水道工事分です。		企業債は上水道老朽管更新事業工事21,000千円、波野簡易水道工事費75,300千円を借入れ。国庫補助金は全額波野簡易水道工事		企業債は一の宮第5水源地施設整備及び送配水管布設工事200,000千円、7%台の高金利で借入れた企業債の繰上償還として60,500千円を借入れ。		企業債は下り山浄水池施設整備及び送配水管布設工事158,200千円。		企業債は国道57号西町地区配水管布設及び黒川上水道導水管工事55,000千円。	

## (4) 資本的支出: 税込

(単位: 千円)

		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
		計 画	決 算	計 画	決 算	計 画	決 算	計 画	決 算	計 画	決 算
資本的 支 出	建設課改良費	254,900	<b>219,018</b>	240,000	<b>212,869</b>	200,000	<b>241,766</b>	100,000	<b>103,777</b>	100,000	<b>177,500</b>
	企業債償還金等	92,100	<b>133,195</b>	142,300	<b>139,620</b>	137,000	<b>201,325</b>	138,200	<b>264,800</b>	138,300	<b>145,978</b>
	合 計・・・(A)	347,000	<b>352,213</b>	382,300	<b>352,489</b>	337,000	<b>443,091</b>	238,200	<b>368,577</b>	238,300	<b>323,478</b>
説 明		建設改良費の主要な工事は、黒川送水管布設替工事95,000千円波野簡易水道工事107,677千円です。		建設改良費の主要な工事は、一の宮第3配水場設備改修工事14,049千円上水道新規水源試掘工事17,200千円老朽管更新事業21,976千円波野簡易水道工事123,390千円です。		建設改良費の主要な工事は、一の宮第5水源地施設整備及び送配水管布設工事196,791千円、下水道工事に伴う布設替工事22,380千円です。		建設改良費の主要な工事は、下り山浄水池施設整備工事36,634千円、下水道工事に伴う布設替工事9,710千円です。		建設改良費の主要な工事は、黒川上水道施設整備及び導水管布設工事73,169千円、下水道工事に伴う布設替工事16,860千円、宮地地区配水管布設替工事9,487千円です。	

収入 - 支出 (A) - (B)	126,423	<b>120,674</b>	176,300	<b>178,115</b>	189,000	<b>132,484</b>	120,200	<b>157,164</b>	170,300	<b>218,597</b>
説 明	資本的収入額が支出額に不足する額は、消費税資本的調整額、損益勘定留保資金等で補填しました。									

### ③ 主要施策

	施策名		実施時期	内容（理由）
1	新水源開発調査	計画	平成18年4月	上水道安定供給のため
		実施	平成18年9月～10月	完了
2	新水源さく井工事	計画	調査完了後早期	上水道安定供給のため
		実施	平成18年12月～19年2月	完了
3	送配水施設新設更新事業	計画	平成18年4月	老朽化対策と安定供給のための予防管理体制の構築
		実施	平成18年4月～20年3月	宮地地区と黒川地区の配水管の接続と一の宮第5水源施設整備及び送配水管布設工事が完了し上水道の安定供給が図られた。
4	波野簡易水道施設整備	計画	平成18年4月	波野地区の安定供給のため。
		実施	平成18年11月～19年3月	平成8年度からの継続事業が完了し、安定供給が図られた。
5	山田簡易水道施設整備	計画	平成19年4月	石綿セメント管の布設替及び老朽施設の改修。
		実施	平成21年度～	平成21年度に61mを実施。県道内牧坂梨線部については、県道改良工事と同時施工を行うため平成22年度から実施し平成23年度に完了予定。その後、配水施設の整備を実行予定

### ④ 設備投資計画

(単位:千円)

	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
水源開発関連事業	0	0	2,000	17,200	50,000	0	0	0	0	0
送配水施設新設更新事業	95,000	105,900	75,000	174,927	50,000	196,791	50,000	44,811	50,000	58,687
老朽管更新事業	110,000	94,300	20,000	13,800	100,000	39,952	5,000	50,248	5,000	110,801
説明			送配水施設新設更新事業の投資額が増加したのは、一の宮第3配水場インバーター施設の改修が発生したこと、波野簡易水道施設整備が事業の最終年度であり、事業費が増加したためであります。		平成18年度の上水道新水源試掘結果が良好であったため、19年度事業で整備完了し、平成20年4月1日から黒川地区、一の宮地区の一部に給水を開始しました。		下り山浄水場の非常用発電機施設整備等を実施し、災害対策に配慮できるようになった。老朽管更新事業は、下水道関連事業で事業費が増加した		黒川上水道の配水施設の設備更新及び狩尾簡易水道の非常用発電機施設整備等を実施した。老朽管更新事業は、下水道関連及び広域農道関連事業で事業費が増加した。	

### ⑤ 企業債残高

(単位:千円)

	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
元金総額(全て公的資金)	2,698,924	2,859,821	2,859,800	2,816,501	2,857,700	2,875,677	2,820,700	2,779,577	2,782,600	2,688,599
説明	企業債は新規借入が発生するので残高の変更が生じます。									

### (2) 中期指標

	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
経常収支比率(%)	103	119	102	109	102	115	102	107	102	103
不良債務比率(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
累積欠損金比率(%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
繰入金比率(%)	10.0	8.8	10.0	9.3	10.0	9.2	10.0	9.9	10.0	10.8
職員一人当たり営業収益(千円)	13,750	67,300	7,690	33,260	7,690	44,641	7,690	42,331	10,000	46,977
顧客満足度(%)	70	70	70	70	75	70	80	70	85	70

(3) 定員管理に関する計画

(単位:人)

	17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
	計 画	決 算	計 画	決 算	計 画	決 算	計 画	決 算	計 画	決 算
職 員 数	12	12	13	12	13	11	13	11	12	10
説 明	阿蘇市定員適正化計画では平成22年4月の職員数を11名と定めており、平成19年度に目標を達成しています。									

(4) 給与の適正化に関する計

給与の適正化については、一般会計の適正化計画に準じて平成18年度から実施しました。

4、経営基盤強化への取組

(1) 経営改革への取組

取組内容は、3、事業計画とその達成状況のとおりです。

(2) 経営効率化への取組

	委託内容		取 組 状 況
民間委託の導入	検針徴収業務	計 画	平成16年度までに、80%実施済
		実 施	平成19年度で、ほぼ100%実施済
	水質試験業務	計 画	平成16年度までに100%実施済
		実 施	継続
	高圧受電設備管理業務	計 画	平成16年度までに100%実施済
		実 施	継続
	各施設の定期管理業務	計 画	平成16年度までに50%実施済。平成21年度には80%まで引き上げる。
		実 施	平成19年度までに80%実施済
	設計業務委託	計 画	平成16年度までに100%実施済
		実 施	継続

(3) 人材育成への取組

専門知識と技術習得のため、毎年度必要に応じて研修会等に参加し、技術の向上を行いました。

5、経費削減等のその達成状況

平成19年度に職員数を1名減、平成21年度に1名減し、人件費削減に取り組みました。

経営基盤の健全化を図るために、高利率企業債の繰上げ償還を実施しました。

### 3、事業計画とその達成状況

#### ① 将来需用予測

	17年度		18年度		19年度		20年度	21年度
	計画	実施	計画	実施	計画	決算見込	計画	計画
給水人口(人)	26,100	24,540	26,100	23,841	26,100		26,100	26,100
年間総給水量(千m <sup>3</sup> )	3,181	3,191	3,181	3,071	3,181		3,181	3,181
1日平均給水量(m <sup>3</sup> )	11,300	11,639	11,300	11,289	11,300		11,300	11,300
説明	給水人口は減少傾向にあるが、年間総給水量は、観光人口の影響を大きく受けるので、3,100千m <sup>3</sup> 前後で推移するものと予測される。							

#### ② 収益的収支及び資本的収支

(単位:千円)

##### (1) 収益的収入

	17年度		18年度		19年度		20年度	21年度	
	計画	実施	計画	実施	計画	決算見込	計画	計画	
収益的 収入	使用料収入	445,500	459,170	445,500	439,395	445,500	447,235	445,500	445,500
	他会計補助金	45,000	44,418	45,000	45,226	45,000	45,456	45,000	45,000
	(内基準内繰出)	(20,000)	(13,274)	(20,000)	(14,447)	(20,000)	(14,430)	(20,000)	(20,000)
	(内基準外繰出)	(25,000)	(31,144)	(25,000)	(30,779)	(25,000)	(31,026)	(25,000)	(25,000)
	合計・・・(A)	490,500	503,588	490,500	484,621	490,500	492,691	490,500	490,500
説明	収入合計は年間総給水量に比例して増減するが、490,000千円前後で推移するものと予測される。								

##### (2) 収益的支出

(単位:千円)

	17年度		18年度		19年度		20年度	21年度	
	計画	実施	計画	実施	計画	決算見込	計画	計画	
収益的 支出	人件費	83,000	85,757	89,000	86,288	89,000	80,609	89,000	83,000
	物件費	391,000	337,071	391,000	358,414	391,000	355,661	391,000	393,000
	合計・・・(B)	474,000	422,828	480,000	444,702	480,000	436,270	480,000	476,000
説明	物件費において、町村合併に伴う固定資産の再評価を実施した結果約40,000千円の固定資産費用が減少したためである。				平成18年度に対して、人件費が約6,000千円減少しているのは、職員が1名減となったためである。		過去3年の実績から430,000千円前後の支出額と予測される		

経常損益・・・(A)-(B)	16,500	80,760	10,500	39,919	10,500	56,421	10,500	14,500
----------------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------